

高校生の挑戦をふるさと納税で応援しよう！ 川崎市立高等学校で初のクラウドファンディングを開始

川崎市教育委員会では、川崎市立高等学校の生徒の主体的な学びや挑戦を応援するため、令和 8 年 10 月 13 日（火）から 12 月 31 日（木）まで、本市の市立高等学校として初めてふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施します。各校の特色を生かした 4 つのプロジェクトを展開し、市内外の皆様から広く寄附を募りますので、ぜひ御支援をお願いいたします。

1 募集内容（各プロジェクトの詳細は別紙参照）

校名	プロジェクト名	目標金額	申込先
市立川崎高等学校	「かわさきよいまちづくりプロジェクト」 で川崎市を最幸のまちへ！	150 万円	 ふるさとチョイス GCF
市立幸高等学校	高校生の力でしあわせ溢れる幸区を作りたい！－幸高等学校探究活動活性化事業－	125 万円	 ふるさとチョイス GCF
市立橘高等学校	公立高校から全国へ－デジタル技術で実現する「考えるサッカー」への挑戦－	420 万円	 ふるさとチョイス GCF
市立高津高等学校	高津高等学校創立 100 周年記念事業～地域と歩み「新しい価値を生み出す力」を次の世代へ～	125 万円	 ふるさとチョイス GCF

※目標金額に達しない、または超えた場合でも、各校のプロジェクトに寄附金を活用します。

2 令和 8 年度の実施期間

令和 8 年 10 月 13 日（火）から同年 12 月 31 日（木）まで

※令和 9 年 1 月から 3 月までの間で第二弾を実施予定

3 その他

- 本プロジェクトへの寄附は、ふるさと納税の対象となり、川崎市内にお住まいの方も寄附ができますが返礼品はありません。また、市外にお住まいの方も返礼品はありません。
- 寄附いただいた方には、寄附金受領証明書を発行します。確定申告やワンストップ特例申請を行うことで、寄附金控除の適用を受けることができます。
- 企業・団体等からの寄附も受け付けています。寄附を希望される場合は、教育委員会事務局学校教育部指導課へ御相談ください。なお、川崎市は企業版ふるさと納税の対象外の自治体のため、企業・団体等による寄附は一般の寄附金として取り扱われますが、損金算入の対象となります。

問合せ先

<クラウドファンディングの内容について>

川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課 山本 電話 044-200-3067 内線 51344

<寄附手続について>

川崎市財政局財政部寄附財源担当 大島 電話 044-200-0379 内線 24303

1 川崎市立川崎高等学校（探究活動と国際理解教育に力を入れる市内で初の公立中高一貫教育校）

プロジェクト名	「かわさきよいまちづくりプロジェクト」で川崎市を最幸のまちへ！
目標金額	150 万円
概要	川崎市立川崎高等学校普通科では、1、2年生の「総合的な探究の時間」を「かわさきよいまちづくりプロジェクト」として、川崎という都市そのものを教材とし、地域課題の解決に向けた探究活動に取り組んでいます。生徒一人ひとりが問いを立て、仲間や協力企業の方と議論を重ねてアイデアを出し、現場に足を運んで調査したり実践したりしながら思考を深めていきます。今後は更に生徒が主体となって学ぶことができる環境を整えるため、皆様からの御支援をお願いいたします。
寄附金の使い道	探究活動に必要な調査・取材経費（交通費、消耗品費、印刷費）、研究の協力に対する謝礼等に活用させていただきます。 生徒は課題の発見から企画立案、実践、成果発表までを主体的に経験することで、課題解決力や協働する力を身に付けます。また、活動成果を地域へ発信し、実際のまちづくりや地域活性化につなげることで、高校生ならではの発想を地域へ還元し、より良い川崎の実現に貢献します。
生徒の想い	附属中学校では「かわさき LEAD（Learn, Experience, Action and Dream）プロジェクト」によって、学ぶこと、体験すること、行動することを重視し、生徒一人ひとりの夢を叶えることを目指し、探究活動に取り組んできました。高等学校では、ゼミ形式となり、地域の課題の中から自分たちでテーマを設定し、企業や市役所の方々から御指導をいただきながら、仲間たちと協力して探究活動を進めていきます。6年間の継続的な学びの成果を、「かわさきよいまちづくりプロジェクト」の活動に生かしたいです。

2 川崎市立幸高等学校（普通科と商業科を併設し、区役所と連携した地域課題の解決や企業との商品開発等に取り組む高校）

プロジェクト名	高校生の力でしあわせ溢れる幸区を作りたい！－幸高等学校探究活動活性化事業－
目標金額	125 万円
概要	川崎市立幸高等学校の生徒は、「総合的な探究の時間（幸探究）」「課題研究」において、地域課題の解決や企業等と協力した商品開発等に取り組んでいます。これまで地元企業と協力して、川崎の魅力をカプセル入りのキーホルダーにした「街ガチャ in 川崎」を企画し、現在は第2弾の開発も進めるなど、幸区の魅力を向上させる活動を行っています。今後、更に地元の課題に向き合っていくためには、生徒の校外活動を支えていく必要があります。生徒の学びを支える体制整備を更に進めてまいりますので温かい御支援をお願いいたします。
寄附金の使い道	探究活動に必要な取材経費（交通費、謝礼）、発表会経費（会場費、運営費）、商品開発・調査活動経費（消耗品費）等に活用させていただきます。 生徒は地域の方々と協力しながら、企画立案から実践、成果発信までを主体的に経験することで、課題解決力やビジネス感覚を身に付けます。また、活動成果を地域へ発信することで新たな交流や連携を生み出し、高校生ならではの発想で幸区の魅力向上や地域活性化に貢献します。
生徒の想い	- 幸探究では、地域の方々と交流する中で地域の魅力に触れ、新たな魅力を掘り起こし発信する活動をしています。私は「かこさとしさんを通じた区の魅力発信」という課題で幸区役所と連携し、近隣の保育園での読み聞かせや生誕100周年をお祝いするイベントを企画、運営しました。年代を問わず多くの方々との対話を通じて地域の魅力を発信できたことが自信になりました。 - ビジネス教養科の課題研究を通じた実践的な学びで、私は企画から商品化、販売までの一連のプロセスを実体験できました。企業の方と本気で意見交換をしながら商品を開発していく過程から、私は地域経済を動かすことが社会を動かすことにもつながることに気づきました。課題研究によって社会への視点が変わりました。

3 川崎市立橘高等学校（普通科、国際科、スポーツ科を併設し、「スポーツの橘」として知られる文武両道の高校）

プロジェクト名	公立高校から全国へデジタル技術で実現する「考えるサッカー」への挑戦ー
目標金額	420 万円
概要	橘高等学校サッカー部は、約 100 名の部員が全国大会出場という目標に向かって日々努力を重ねています。公立高校でも全国で戦えるチームを実現するため、経験や感覚だけに頼らない、デジタル技術を活用した科学的なトレーニング環境が必要です。映像分析や選手の運動量等を可視化するデジタル技術による先進的な環境をさらに充実させ、選手自ら課題を発見・主体的に成長できる環境に、そしてチーム全体のパフォーマンス向上につなげて全国大会出場を実現するため、温かい御支援をお願いいたします。皆様の御支援が、選手たちの可能性を広げ、新たな挑戦への大きな力になります。
寄附金の使い道	①全選手への GPS 活用環境の整備 GPS デバイスの追加導入と運用費に充てます。走行距離やスプリント回数、身体への負荷などを可視化することで、部員は自らの課題を客観的に把握し、効率的なトレーニングが可能となります。また、怪我の予防やコンディション管理にも活用し、全員が科学的根拠に基づいて競技力向上に取り組める環境を実現します。また、収集したデータの一部は、本校のスポーツ科の授業でも活用します。 ②戦術分析環境の強化 AI 分析カメラの運用拡充、高性能解析用 PC、選手共有情報端末を整備します。試合や練習の映像をその場で確認しながら課題を共有することで、指導者から教わるだけでなく、選手自身が考え、改善策を導き出す力を育みます。全国レベルで求められる「判断力」や「戦術理解力」を高めるための重要な要素です。
生徒の想い	私たち橘高等学校サッカー部は、「全国大会出場」という目標を掲げて活動しています。毎日の練習では、一人ひとりが課題と向き合い、仲間と高め合いながら成長を続けています。近年、部活動を通じた人材育成に積極的な学校では GPS や映像分析などのデータを活用したトレーニングが当たり前になっています。私たちも限られた環境の中で活用していますが、全員が十分に使える状況ではありません。データや映像を共有できれば、自分たちのプレーを客観的に振り返り、何を改善すべきかを自ら考えることができます。部員全員が成長すれば、チーム力は確実にあがります。私たちが目指しているのは、ただ強いチームになることではありません。選手一人ひとりが主体的に考え、成長し、将来社会に出て活躍できる力を身に付けることです。公立高校でも全国に挑戦できることを証明したい。その挑戦のために、皆様の応援をよろしくお願いいたします。

4 川崎市立高津高等学校（岡本太郎生誕の地である高津区で開校した、市立高校で唯一普通科のみを設置する戦前から続く伝統校）

プロジェクト名	高津高等学校創立 100 周年記念事業～地域と歩み「新しい価値を生み出す力」を次の世代へ～
目標金額	125 万円
概要	川崎市立高津高等学校は、令和 10（2028）年に創立 100 周年を迎えます。昭和 3（1928）年の開校以来、地域と共に歩んできた本校は、この大きな節目を「伝統を次世代へつなぐ架け橋」と位置づけています。記念式典や記念講演会、100 年の歩みを記録する記念誌編纂等を通じ、在校生の学びを豊かにし、地域や卒業生との絆を深めたいと考えています。未来を担う生徒たちのためにも、温かい御支援をお願いします。
寄附金の使い道	創立 100 周年記念式典（令和 10 年 10 月に「カルッツかわさき」にて、生徒と市民の皆さんでお祝いをする式典を開催する予定です。）の開催費用や記念講演会、記念誌の編纂等に活用させていただきます。生徒会による記念ロゴやキャラクター制作、体育祭や文化祭の記念企画、高津区と岡本太郎の歴史とつながりを市民に伝える「岡本太郎プロジェクト」をはじめとした探究活動などを通じて、生徒自らが学校の魅力や地域の価値を発信します。地域とのつながりを深めながら、高津高校ならではの新たな歴史を積み上げていきます。
生徒の想い	私たち生徒にとって、創立 100 周年は自分たちの学校の歴史の深さを実感する大切な機会です。現在、生徒会が中心となって、記念事業のロゴやキャラクターデザインの校内公募を行っています。今後は、創立 100 周年記念体育祭や文化祭の企画も考えていく予定です。探究学習で取り組む「岡本太郎プロジェクト」を通して、学校の枠を超えて地域の方々とつながれることにワクワクしています。先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎながら、私たちの代にしかできない新しい高津高等学校の魅力を形にしたいです。応援よろしくお願いいたします。

令和8(2026)年度

川崎市立高等学校 クラウドファンディング 実施中!!

令和8年10月13日から、川崎市立高等学校として初めてふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施します。各校の特色を生かした4つのプロジェクトを展開し、市内外の皆様から広く寄附を募ることで、生徒の主体的な学びや挑戦を応援します。皆様の御支援をお願いします。

実施時期

令和8年10月13日～12月31日

※令和9年1月～3月までの間で第二弾を実施予定

▶ 詳細は裏面へ

150万円

探究活動の調査・取材費用等



川崎高等学校

420万円

サッカー部に
データ分析機器導入



橘高等学校

125万円

探究活動の調査
取材費用等



幸高等学校

125万円

創立100周年記念事業の実施



高津高等学校

川崎市民の方も寄附が可能であり、寄附金控除を受けることができます。
目標金額に達しない、または超えた場合でも、各校のプロジェクトに寄附金を活用します。

Step 1
アクセス

プロジェクトページにアクセス

2次元コードまたはURLからアクセスしてください。

川崎高等学校 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/6152>

幸高等学校 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/6147>

橘高等学校 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/6150>

高津高等学校 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/6151>



川崎高等学校



幸高等学校



橘高等学校



高津高等学校

Step 2
お申込み

お申込み方法

「ふるさと納税で応援」ボタンを選択し、寄附金額入力ページへ移動
寄附金額を入力後、ページの案内に従い入力を進めてください。

Step 3
決済

ご利用可能な決済方法

- ・クレジットカード払い
- ・各種マルチペイメント払い（コンビニ決済、郵便振替、銀行振込を含む）

Step 4
寄附完了

寄附後の手続き

後日、寄附金受領証明書をお送りします。
確定申告やふるさと納税ワンストップ特例制度による、寄附金控除手続きをお忘れなく！

クラウドファンディングとは？

～使い道に共感しふるさと納税を利用して行うクラウドファンディング～



自治体が抱える問題解決のため、いただいた寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。

ふるさとチョイスによるガバメントクラウドファンディング®（GCF®）によるクラウドファンディングはふるさと納税制度の対象となります。

※GCFの詳細 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/about>

～「あなた」と「ふるさと」をつなぐふるさと納税～



ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。手続きをすると、所得税や住民税の還付・控除が受けられます。

ふるさと納税は、自分の選んだ自治体に寄附を行うと、**控除上限額内の2,000円を超える部分**について税金が控除されます。

※ふるさと納税の詳細 <https://www.city.kawasaki.jp/230/page/0000110595.html>

プロジェクトや寄附の手順についてのお問合せはこちら！

